

5 練習を継続させて確実に習得させる指導について（4年）



【授業の様子】

【指導の流れ】

でのひら書き

- ・新出漢字が書けるようになったかどうかペアで確認する。
- ・二人一組で向かい合い、一人が出題者、もう一人は解答者となる。
- ・出題者は、新出漢字の中から口頭で問題を出し、手のひらを相手に向けてみる。
- ・解答者は、出題者の手のひらに出された漢字を指で書く。
- ・間違えたり書けなかつたりした場合、正解を相手の手のひらに書く。
- ・一問ごとに、出題者と解答者は入れ替わる。
- ・後ろを向いて空書き
- ・全員起立。
- ・教室の後ろを向き、空書きをする。
- ・習字のときのよう腕を使って大きく空書きをする。

【留意点】

でのひら書き

- ・スキンシップをしながら、楽しく書き取りができるようにする。ペアワーク。筆順、とめ、はね、はらいなど、細かな部分までチェックするよう声掛けする。
- ・教師と児童のペアはさらに楽しく身に付く。難しい漢字は、教師の背中に書かせる方法も大人気。
- ・後ろを向いて空書き
- ・筆順の正誤を教師がチェックしやすい方法である。また、学習活動に変化をつけることができる。
- ・列ごと、グループごと、男女別など変化をつけて繰り返す。
- ・「あれ？筆順の間違っていた子が三人いましたよ。もう一回やりましょう。」などと声掛けすると集中力が高まる。
- ・書けない児童には、ドリル等を見せて空書きさせる方法もある。